

令和6年度松戸市協働事業「まつどde SDGsの輪を広げようプロジェクト事業」より
第1回松戸市SDGsの取組み事例発表

住み続けられる街づくりを 目指した町会活動を

令和6年11月29日
於：六実市民センター

六高台2丁目町会

会長：近藤典夫

発表者：部長 佐藤孝逸（消費生活サポーター）

【六高台2丁目町会】（会員約500世帯）

相互扶助精神に基づく会員福祉の向上と相互の親睦、 生活環境整備、明朗な街の発展を目指した町会活動

「毎月」

情報共有は**班長会議**。
その中での**消費生活情報提供**



消費生活情報提供は
2013年12月から始まる。

「秋」

敬老事業。日帰り親睦旅行。
環境美化運動。防犯・防災活動



「春」 六実桜まつりへの協力。
環境美化運動。防犯・防災活動

「夏」

夏まつり盆踊りと焼きそば提供



消費者被害防止情報提供とSDGs

公（消費者庁、国民生活センター等）から発信された情報を、わかりやすい形でまとめ、継続的に地域住民に届け、消費者被害を未然に防ぎ 住み続けられるまちづくり（SDGs目標11）に寄与する。



1	・ 貧困をなくそう（詐欺・強盗による貧困をなくす）
2	・ 飢餓をゼロに（金銭紛失による食事欠損をなくす）
3	・ すべての人に健康と福祉を （高齢者の詐欺被害防止による健康と福祉の維持）
10	・ 人や国の不平等をなくそう （被害による不平等の拡大阻止を）
11	・ 住み続けられるまちづくりを （地域から詐欺などの犯罪をなくし住み続けられる街づくりを）
12	・ つくる責任つかう責任（周囲の見守りにより不要な商品購入防止と、商品の適正な購入を）
16	・ 平和と公正をすべての人に （見守り、情報提供による公正の維持を）